

省燃費グッズ『シルキーユニット』 の実測データの評価

2009年3月

株式会社 早稲田環境研究所

コープおおいたにおける実験の概要

(有)オーディオラボが開発した“シルキーユニット”の燃費改善効果を検証する。

実験概要

実施日時	2008年11月3日～12月18日
被験者	コープおおいた職員各日 (とも1名)
実験車両	いすゞエルフAT (ディーゼル車) 三菱ふそうキャンターAT (ガソリン車)
使用形態	共に荷物の運搬に利用 センター～佐賀関間
燃費計測方法	共に満タン法
評価対象グッズ	シルキーユニット
走行方法	～ 全て実走行

客先にて手配。

実験方法

- 1) 通常時の燃費を計測するため、2週間省燃費グッズを付けずに走行し、満タン法にて燃費を算出する。
- 2) 省燃費グッズを装着後、3～4週間、走行し、同様に満タン法にて燃費を算出する。



【Silky-Unit】

バッテリーに戻る電流のノイズを半分にカット！静電気の削減を可能にしたために転がり抵抗が減り、燃費の向上にもつながります。

HP抜粋

<http://www.audiolabo.co.jp/ground/silky.htm>

コープしずおか協力による評価実験概要

(有)オーディオラボが開発した“シルキーユニット”の燃費改善効果を検証する。

実験概要

実施日時	2008年10月27日～12月12日
被験者	コープしずおか職員各日とも1名。但し、運転者は非固定で毎日変動。
実験車両	<ul style="list-style-type: none">・ともにマツダ タイタン・最大積載量1350kg・ともにガソリン車
使用形態	<ul style="list-style-type: none">・荷物の運搬に利用・センター 藤枝市・焼津市郊外・走行区間・コースは毎日変動
燃費計測方法	満タン法
評価対象グッズ	シルキーユニット
走行方法	全て実走行

客先にて手配。

実験方法

- 1) 通常時の燃費を計測するため、2週間省燃費グッズを付けずに走行し、満タン法にて燃費を算出する。
- 2) 省燃費グッズを装着後、5週間、走行し、同様に満タン法にて燃費を算出する。



【Silky-Unit】

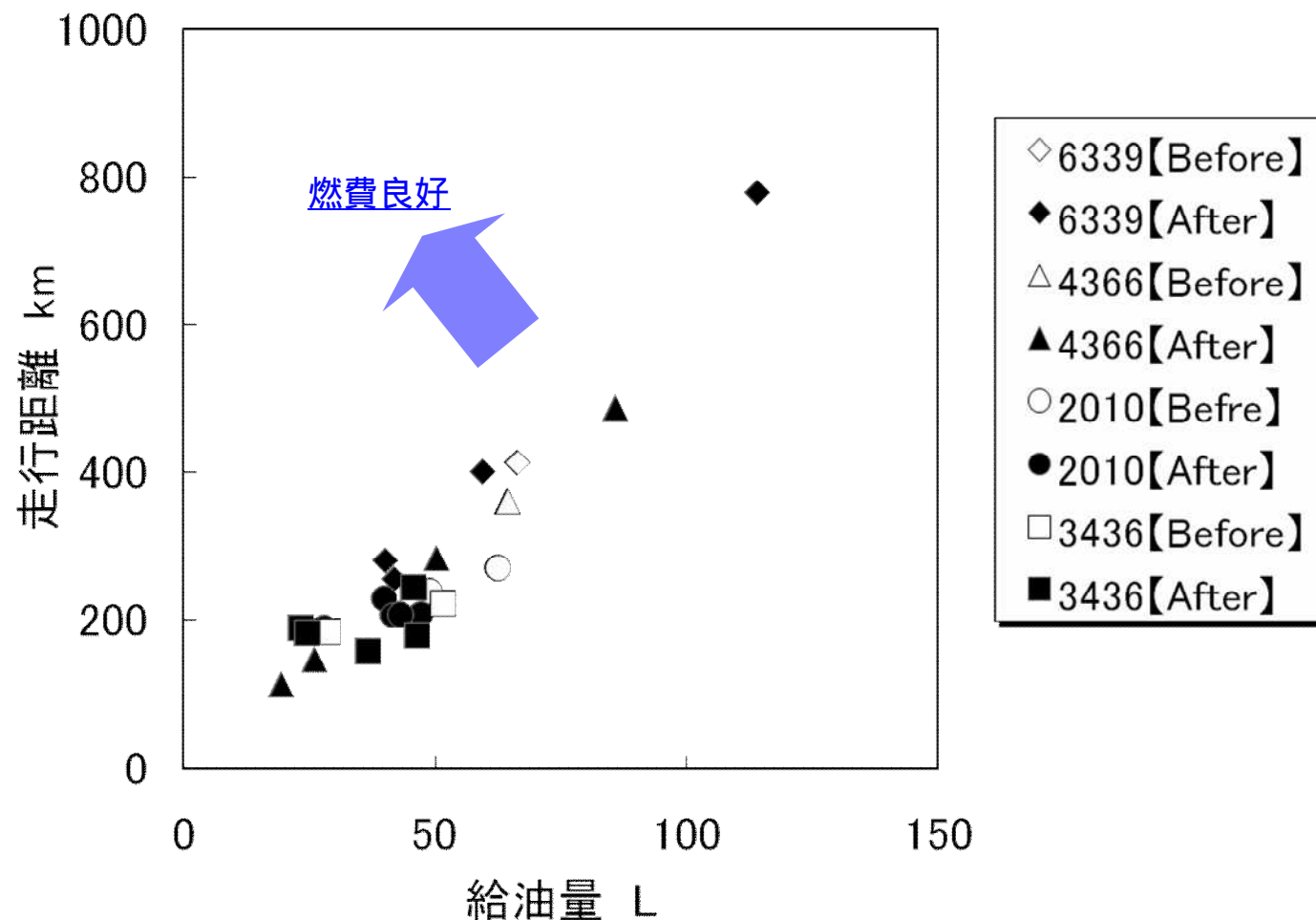
バッテリーに戻る電流のノイズを半分にカット！静電気の削減を可能にしたために転がり抵抗が減り、燃費の向上にもつながります。

HP抜粋

<http://www.audiolabo.co.jp/ground/silky.htm>

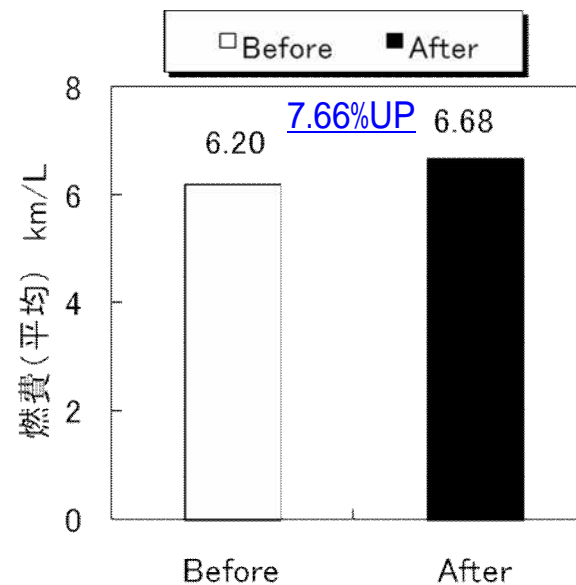
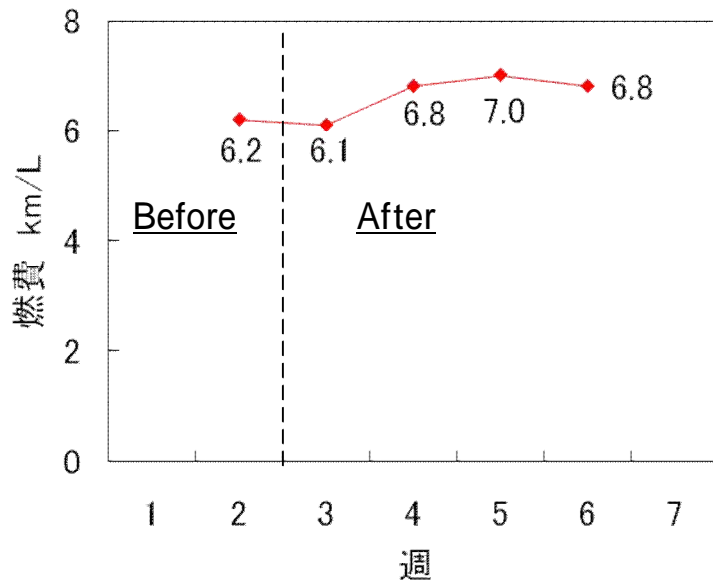
給油量と走行距離の散布図

傾きが燃費を表す。ばらつきはあるが、After(黒色)のプロットがBefore(白色)のプロットの上側に分布される傾向がみられる。マクロ的に燃費改善効果があった確認されたといえる。

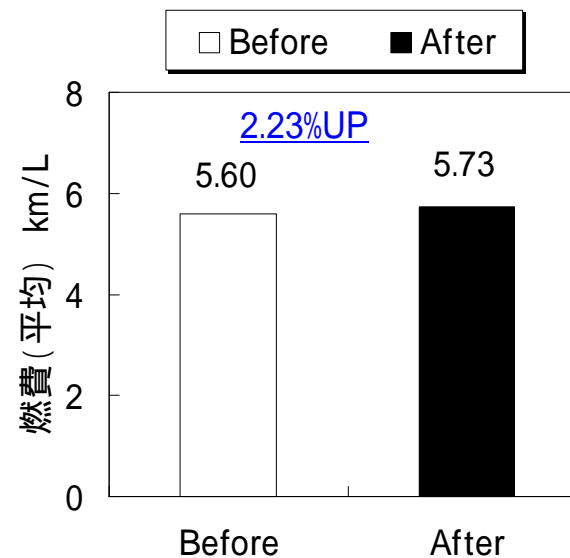
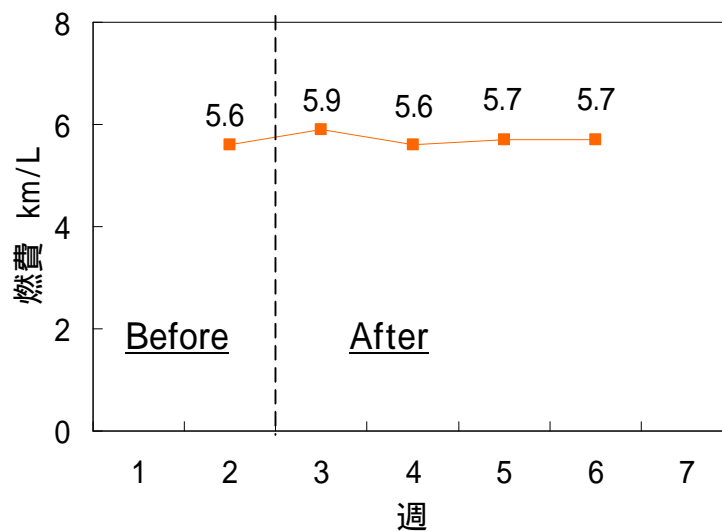


燃費の比較 ~ 大分 ~

【No.6339】



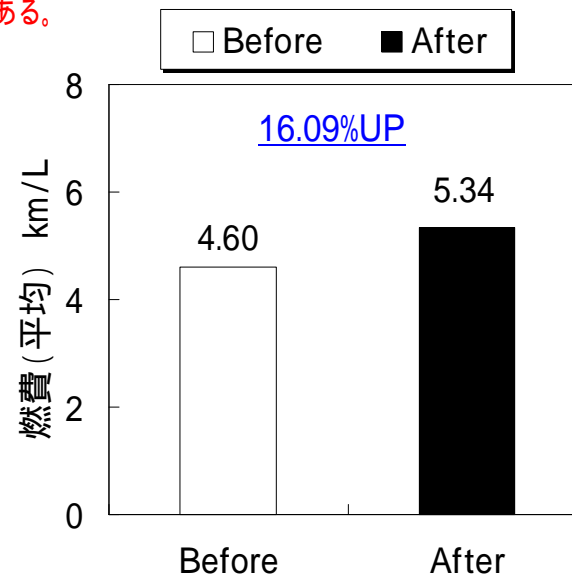
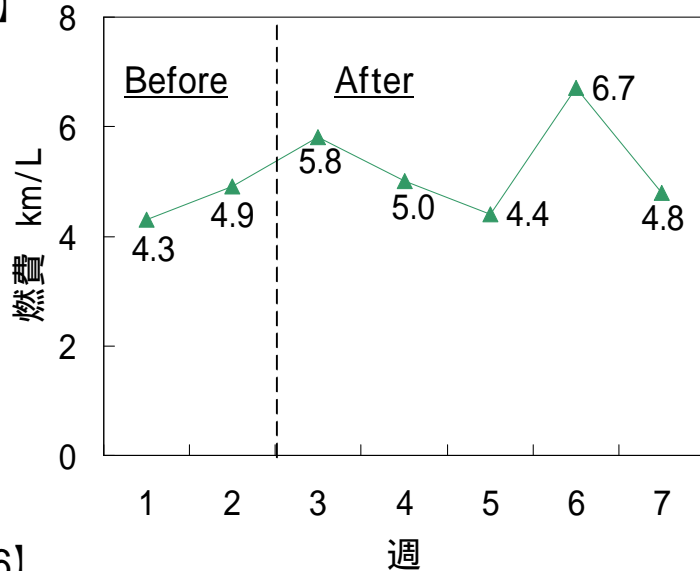
【No.4366】



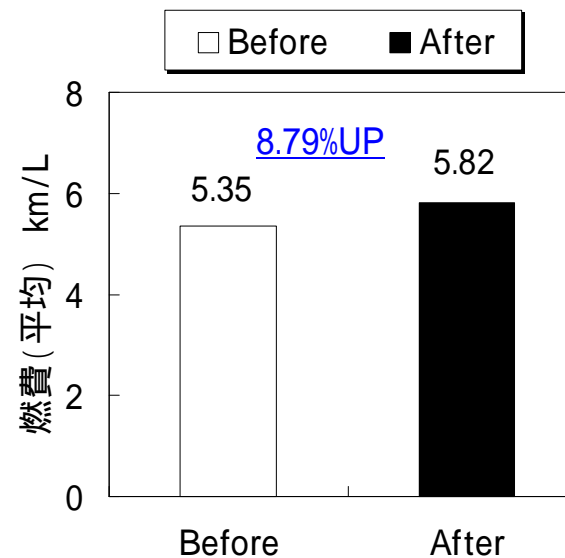
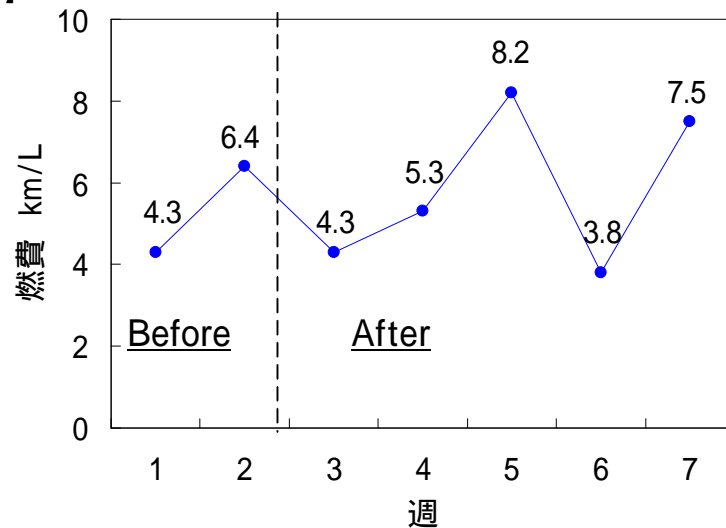
燃費の比較 ~ 静岡 ~

両者ともAfterの燃費にばらつきがある。

【No.2010】



【No.3436】



まとめ

- 一部、Beforeのデータが少ない等の検証上の課題はあったが、シルキーユニットの装着によって、燃費改善効果が得られる結果となった。4台の試験結果から得られた燃費改善効果は以下のとおりである。
 - 平均値：8.7%（最大：16.09%、最小：2.23%）
- 装着後に全ての走行で燃費が向上しているが、ばらつきが存在した。走行条件等が影響しているものと考えられるが、その要因は本実験結果からでは考察できないことを留意されたい。

今後の展開

- 今後も引き続き、(株)早稲田環境研究所では、データの蓄積による当該製品の継続的な効果測定をはじめ、有害排気ガスの削減、静電気による人体への影響、電気自動車への適応可能性などの研究に着手する予定です。